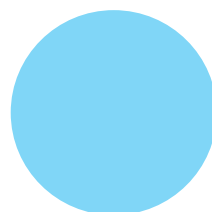
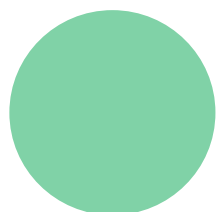
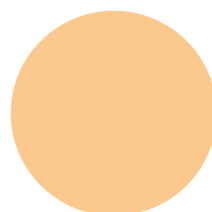
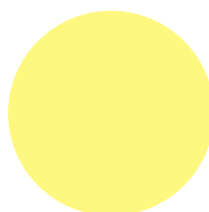
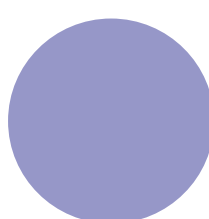


雑誌広告 オンライン送稿



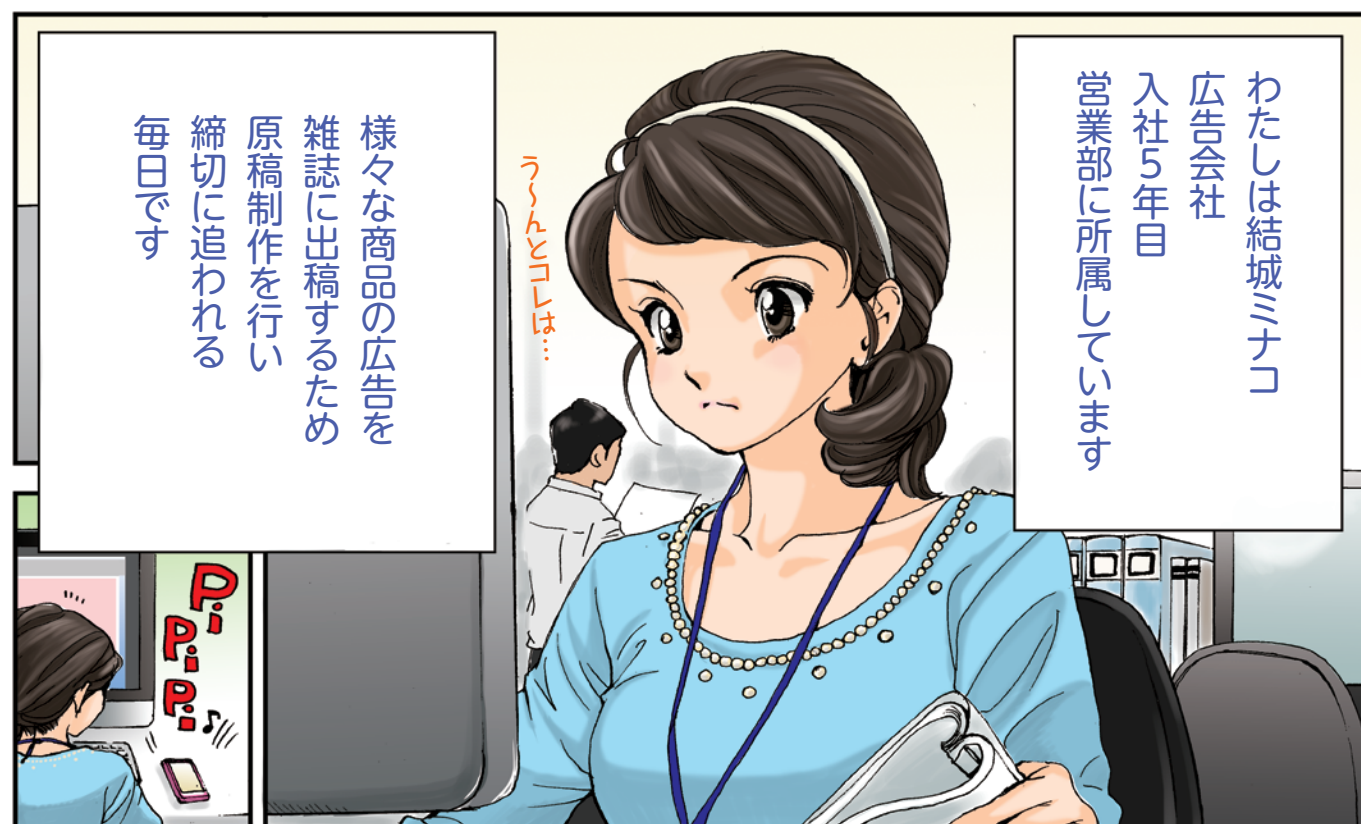
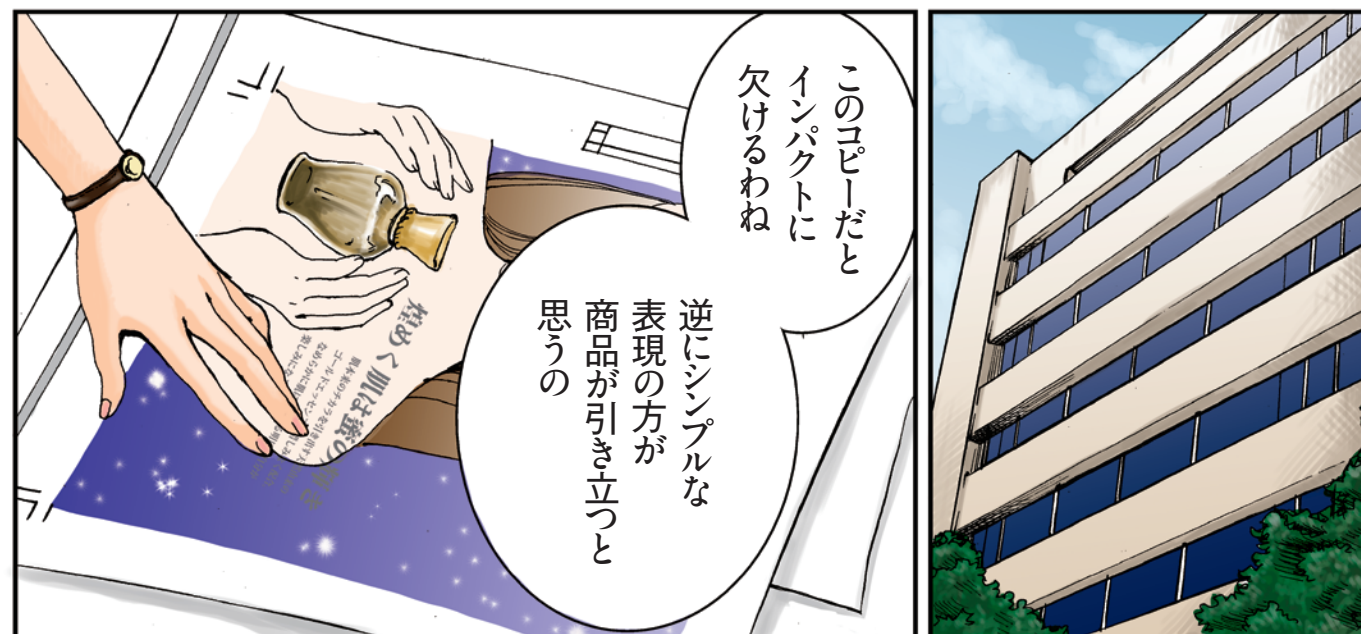
デジ協ちゃん



雑誌広告デジタル送稿推進協議会

一般社団法人 日本雑誌協会
一般社団法人 日本雑誌広告協会
一般社団法人 日本広告業協会

〔え〕 桜木雪弥



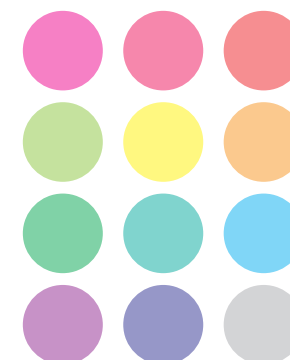
はじめに

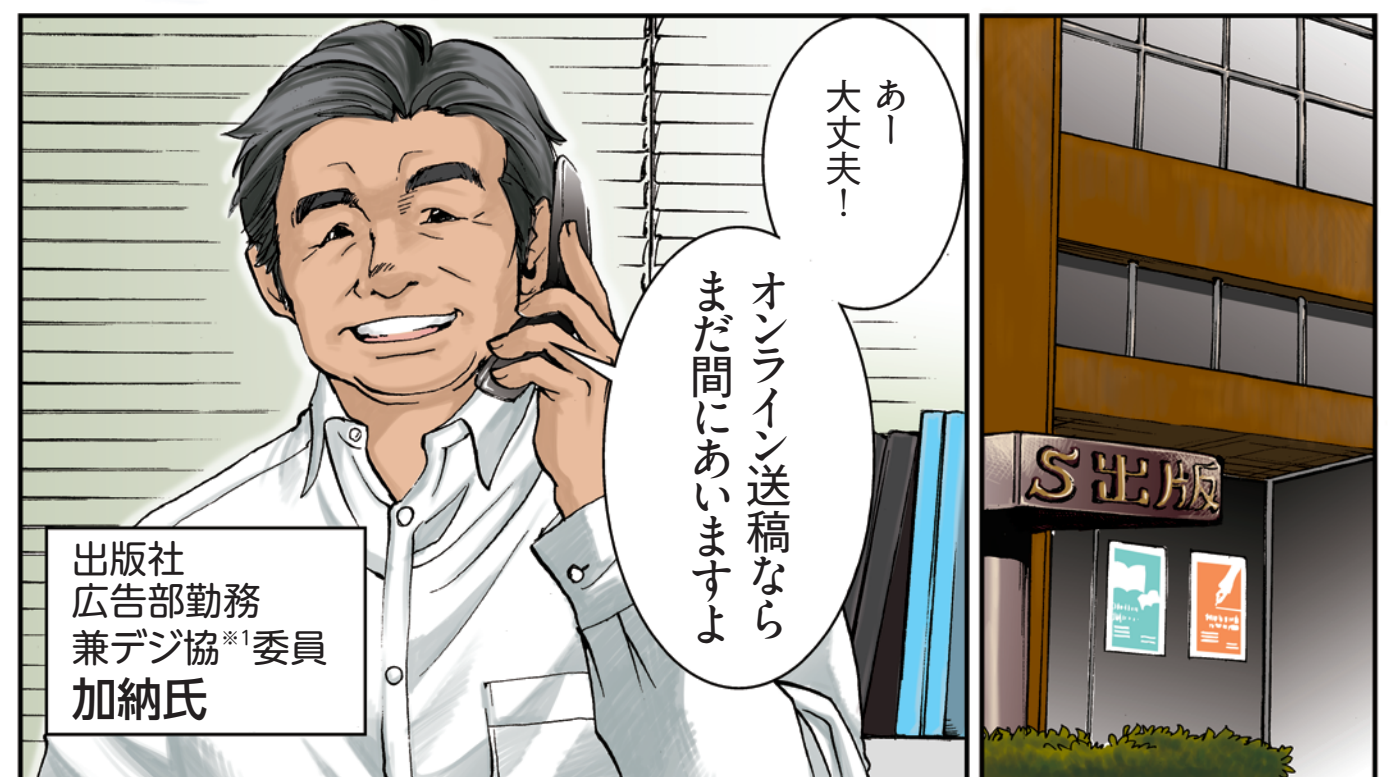
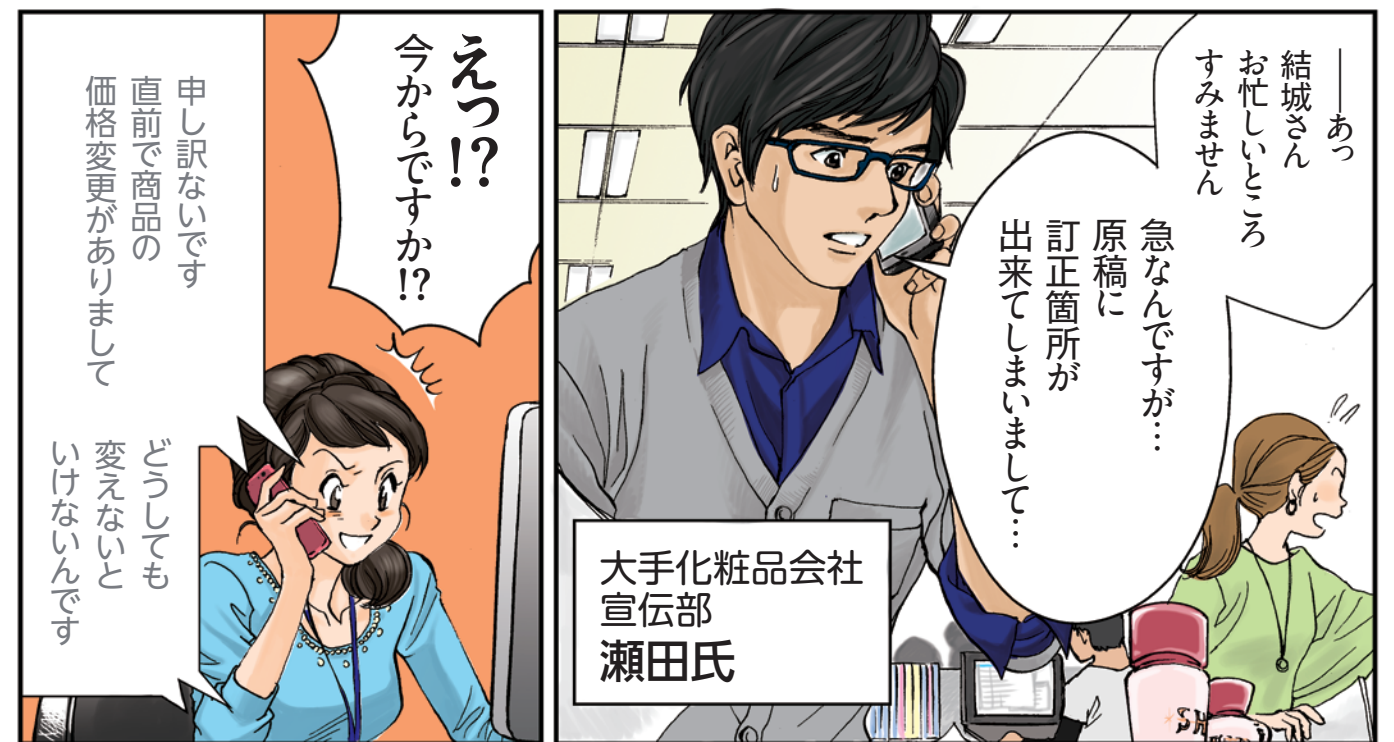
雑誌広告デジタル送稿推進協議会（一般社団法人 日本雑誌協会・一般社団法人 日本雑誌広告協会・一般社団法人 日本広告業協会）が、雑誌広告の価値向上を目指して取り組んできた「純広告の完全オンライン化」は2014年4月より本格化いたしました。2013年4月に宣言してから1年間をかけて、セミナーの開催や関係団体に対する説明会といった啓蒙活動に努めてまいりました。この1年間でシステム提供会社である(株)デジタルセンドと多くの製版・制作会社様、広告会社様、出版社様が契約を結び、運用を開始しており、現在ではオンライン送稿の本数は飛躍的に増えています。

こうした活動および当協議会の公式サイト「雑誌デジ送ナビ」に寄せられたさまざまなご意見・ご質問から、雑誌広告に関係する皆様に、「オンライン送稿」をさらに理解していただくために、新たなツールを作成いたしました。この小冊子は純広告を誌面に掲載するにあたり、実際に起こりうるシーンをもとに、オンライン送稿の利便性をマンガで描いております。ぜひご覧いただき、導入促進のためのツールとして、ご活用いただけますよう、よろしくお願いします。

雑誌広告デジタル送稿推進協議会会長（(株)光文社取締役）

佐藤 均





※1 P11参照



※2 P11参照

同サイズ、同絵柄なら
複数誌に出稿する場合
一つのデータで済みます

オンライン化により
煩雑な作業も
なくなつて
ヒューマンエラーを
減らすことにも
つながるでしょう

また、
広告会社にとっては
QPチェックをかけることで、
業界のルールにのつた
安全・安心なデータである
ことを保証することができ、
安全な原稿送稿が
可能になるんです

※4
更に再送稿も
簡単にできます

デジタルや
オンラインの
運用はもはや
時代の流れでも
あるし…

オンライン化によつて
これだけメリットが
あるなら
ぜひ取り入れたい
システムだわ

ええっ
その原稿はもう
校了しちゃつてるのよ!?

—と頭では
わかつていたのですが
なかなか会社の上層部を
説得できず、システム導入が
遅れていました

総務: 今までどおりで
問題ないんじや

担当役員: オンラインねえ
よくわから
ないし…

経理: それって
お高いんでしょ

そんな時に
ある出来事が…

物流を必要とせず
ネットワークで原稿授受を
行ふんです!

色確認作業
色校正

制作/製版会社

デジ協ちゃん

旧来の手渡し

【送稿素材：4点セット】
CD-R 出力見本 仕様書 簡易出力見本

【送稿素材：印刷用データ】
PDF メタデータ(掲載情報)

色校正

広告主

制作/製版会社

広告会社

出版社

印刷会社

物流

オンライン送稿

オンライン

この二つをベースに
運用します!

メタデータ
(掲載情報)を
のせる

Quick
Print (QP)
(業界推奨の検証ソフト)

オンライン送稿を行うためのシステムとは?

Page
Store (PS)
(送受信ソフト)

オンライン
送稿

■「QuickPrint」「PageStore」は㈱デジタルセンドが提供するオンライン送稿システムです

オンライン送稿では
運用上、広告主はどう
絡むんですか?

「運用フローの見直し」と
「原稿の確認方法を
広告会社と
検討してもらう
必要があります」

広告主が制作発注
している場合には、

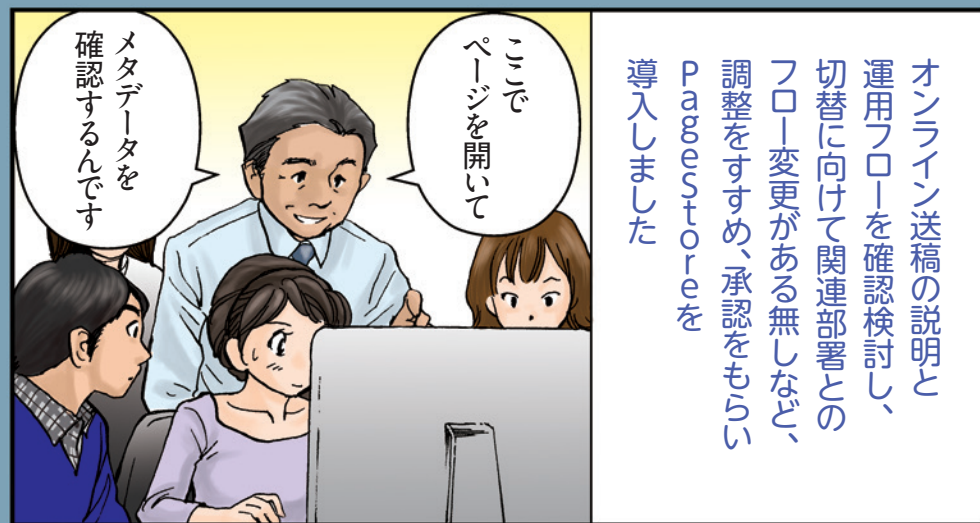
「運用フローの見直し」と
「原稿の確認方法を
広告会社と
検討してもらう
必要があります」

広告会社が制作発注している
場合には、元々原稿の受け渡しに
広告主は絡みませんので、
運用上の変更はありません

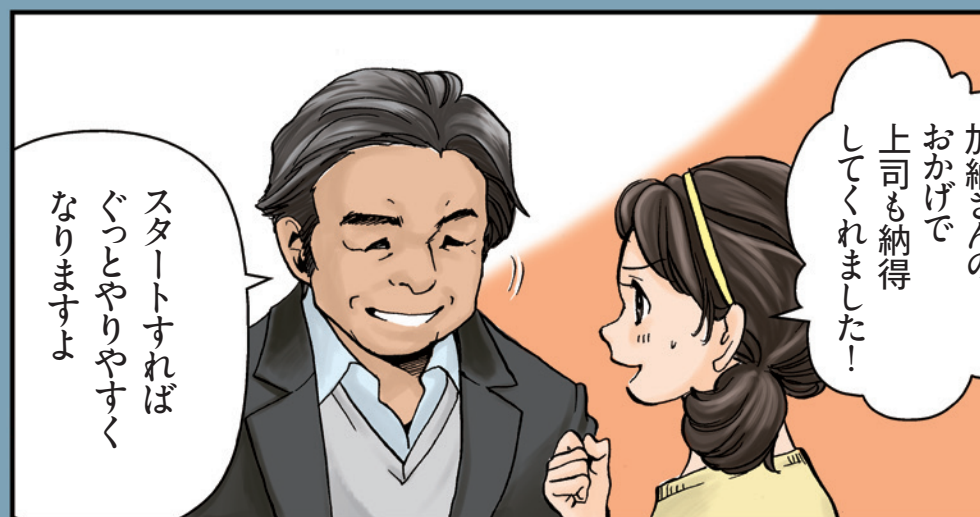
オンライン送稿の基本的な
運用フローとしては、
制作/製版会社→
広告会社→出版社→
印刷会社となるため、

広告会社A

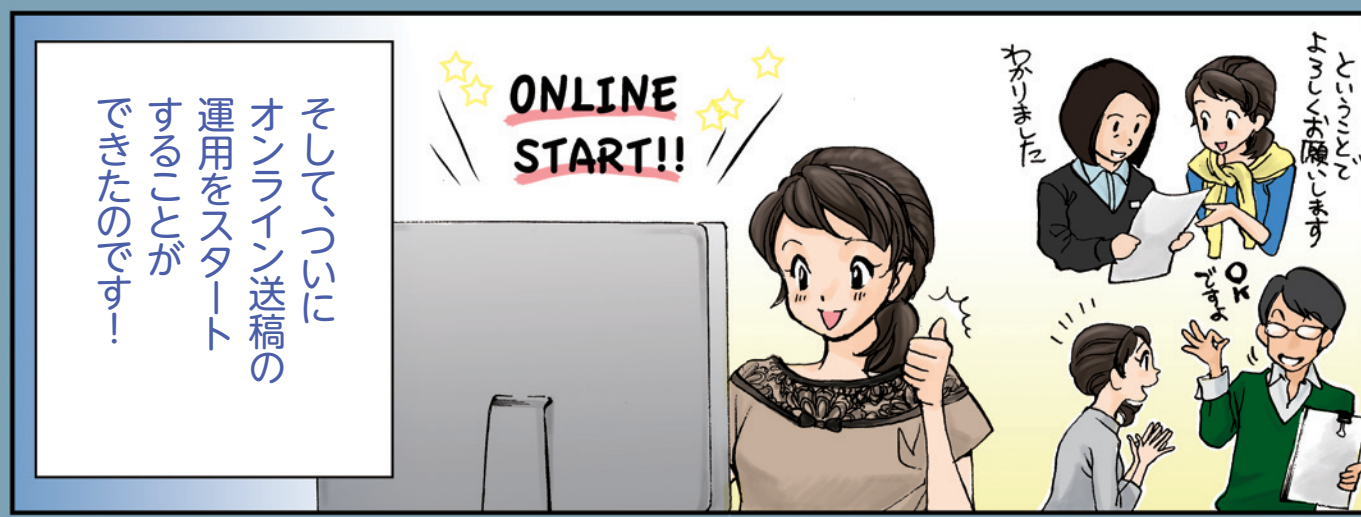
広告会社B



そこで
この出来事を
きつかけに加納氏と
㈱デジタルセンドの方に
説明してもらい



これまで説明や
セミナーを受けて
いたのに…
もっと早く
動くべきでした



用語解説

※1 デジ協

●雑誌広告デジタル送稿推進協議会の略。一般社団法人日本雑誌協会、一般社団法人日本雑誌広告協会、一般社団法人日本広告業協会の3協会が運営母体となり、雑誌媒体の価値を向上させることを目的に『デジタル送稿に関する諸課題』に取り組む組織。

※2 業界推奨の検証ソフト

●デジ協が(株)デジタルセンドに依頼し開発したオンライン送稿システムの検証ソフト(QuickPrint)のこと。

※3 出版社→印刷会社

●出版社・印刷会社間は(株)デジタルセンドの提供するシステム対象外。そのため、出版社は個別に印刷会社との検討が必要(印刷会社提供のサーバを利用するか、通信会社のシステムを利用)。

※4 再送稿

●(株)デジタルセンドが無償提供する「原稿情報書き換えツール」を利用する事で、広告会社から送稿済みの原稿を別発売日、別雑誌へ再利用が可能(同一サイズであり、同一セーフティ以下であれば利用可能)。

※5 導入

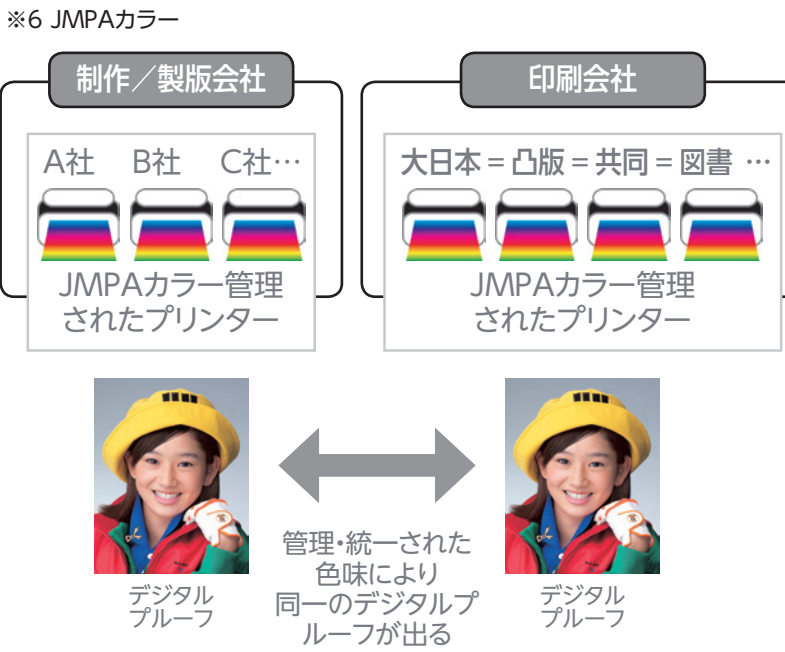
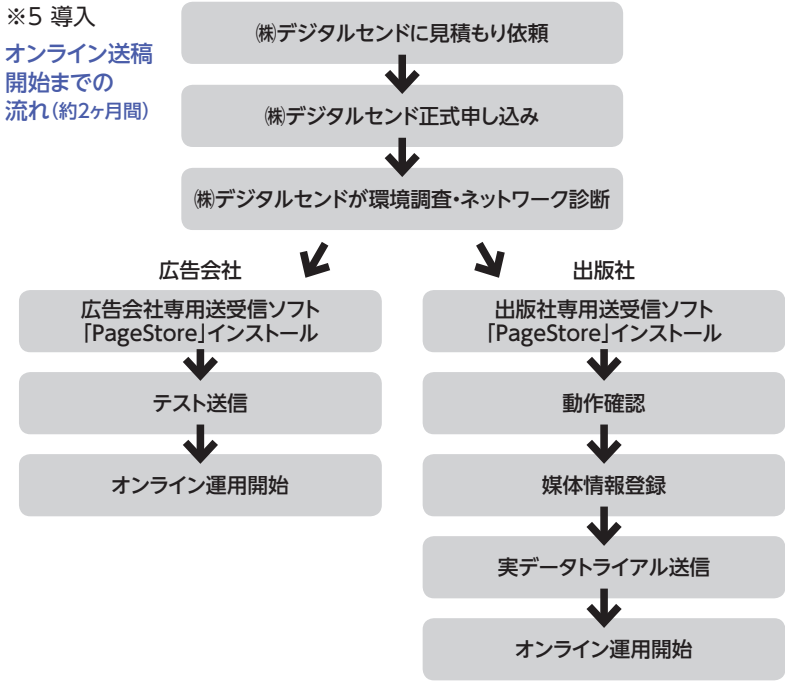
●広告会社および出版社でのオンライン送稿システムを導入するまでの流れ。
(各社により異なる場合があります)
●申込みからオンライン運用開始まで約2ヵ月の準備期間が必要です。

※6 JMPAカラー

●雑誌掲載時の色調を制作段階で確認するための、業界統一の色基準。
●雑誌印刷の際に再現可能な色(色空間)を定めている。
※一般社団法人日本雑誌協会(JMPA)が、広告会社、出版社、印刷会社と協力して策定。
●これにより、雑誌広告の制作から印刷に至るすべての過程で、管理・統一された色味の校正(デジタルプルーフ)を確認することができるようになる。

※7 費目

●オンライン運用の費目については、制作/製版会社ごとに異なる場合がありますので、広告会社の方は取引のある制作/製版会社と事前に協議・検討が必要となります。
●右の表はオンライン運用とオフライン運用の費目の考え方です。参考までにご確認ください。

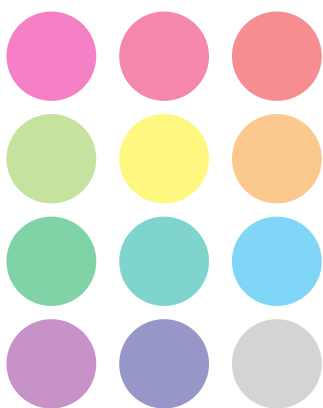


※7 費目

費目	内容
① 送稿データ作成費	
作成料	送稿データの作成および媒体別カスタマイズ作業(媒体別のサイズ調整、画像処理や地域別情報などの差し替えなど)
検証料	媒体ごとに適合したデータであることの検証確認(QuickPrint<もしくはAcrobat>による検証)
② 記録メディアによる送稿作業費	
データ書き出し料	記録メディアへのデータ書き出し、送稿セット作成(ゲラ出力含む)
メディア料	データを格納するCD・DVD代
③ オンライン送稿作業費	
PageStore利用料	掲載情報入力、オンライン送稿データ生成、送稿管理など

①...送稿形態に関わらず必要な費用
②...メディアによるオフライン運用にて送稿する場合に必要な費用
③...オンライン運用にて送稿する場合に必要な費用
「オフライン運用」の場合は①+②
「オンライン運用」の場合は①+③





オンライン送稿や業界動向に関する情報・質問は

▶「雑誌広告デジタル送稿推進協議会」ホームページ
<http://www.3djma.jp>

オンライン送稿システムに関する情報・質問は

▶「デジタルSEND」ホームページ
<http://www.digital-send.com>

